

協働による循環型地域社会づくり とNPOの役割

～ 環境と経済の好循環に向けて～

崎田裕子

ジャーナリスト・環境カウンセラー

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

NPO法人新宿環境活動ネット代表理事

持続可能な「環の国」づくり

- 人と自然が共に生きる社会への課題
「温暖化防止・循環型社会・自然との共生」

環境と経済の好循環

くらしと仕事に責任を持つパートナーシップ
技術の進歩... が大切なキーワード

- 生活者・NPO・地域の視点から
環境と経済の好循環を支える
「活力あるパートナーシップ社会」
への道筋を、循環の視点で展望する

活力あるパートナーシップ社会 への道筋

- 私たちが社会とのつながりを自覚し、自らの役割を考え、理解し、行動する
- < 意識改革への課題 >
的確な情報と、コミュニケーション
環境学習・普及啓発
- 消費選択・社会参加・実践行動
- 企業と生活者をつなぐNPOの役割
- 連携を地域・社会で具体化する

一人ひとりできることから～ 「もったいない」が生み出す資源

- 一方通行の使い捨て型社会から、
地域で具体化する「リサイクル社会」
- 自ら循環の環をつなく、実感の楽しさ
牛乳パック・古紙 オリジナル再生紙
繊維 リサイクル店 途上国支援
生ごみ 堆肥化 野菜・菜の花栽培
- 継続への力。再生品への関心。
- 地域ネットで、人ともものがつながる

リサイクル実践で、3Rへの目覚め そもそもごみを出さない循環型社会に

- 3Rの優先順位 (リデュース・リユース・リサイクル)で、資源を大切にしたい暮らしを
- リデュース(発生抑制) ごみを減らす
マイバッグ持参の、買い物から
- リユース(再使用) 何度も使う
修理・リース・リターナブル容器
- リサイクル(再利用) 資源に生かす
資源回収の参加

くらしの見直しで実感する3R効果

- 名古屋市・資源回収の徹底
～ 市民が買い物の重要性を痛感
H11年と12年で
ごみは-23%、資源は倍増
ごみと資源の総量は-8%(発生抑制)
- 日野市・家庭ごみ有料化
～ 市民意識の高まりと、個別回収等
H12年と13年で、
ごみは-48%、資源は倍増
ごみと資源の総量は-25%(発生抑制)
- 循環資源の発生量予測が今後重要

つくり手・販売・使い手が連携する時代

- 企業と消費者の情報交流が育てる
グリーンコンシューマー
- メーカー・販売店の拡大生産者責任実践
- 消費者の排出者責任とコスト負担の理解

- 行政は的確なコーディネーターに
(生産・流通・消費・廃棄まで、
物の一生を見据えた横の連携で)
- 普及啓発と経済的な施策
環境税、環境ラベル、家庭ごみ有料化
使い捨て容器対策、デポジット回収...

リサイクル活動の変化 「3Rから広げる環境のまちづくり」

- 身近なリサイクル活動
- くらしや地域行事での3R実践
- 消費行動をグリーンコンシューマーに
- 食と農、都市と農村の交流
- 環境学習・こどもの環境活動支援
- 自然環境保全・自然エネルギー、
地域おこし・地域の特産品づくり
市民・事業者・行政の連携と協働
くらしからまちへの広がり と 総合化



3500人の主婦が連携する熊本県水俣市「ごみ減量女性連絡会議」
1998年から、食品トレイやレジ袋削減を、販売店の協力で実践中

2001年創設 「市民がつくる環境のまち」元気大賞

- 全国各地の個性溢れる「協働による循環型地域モデル」を募集し広く発信
- 2001年～2003年 150団体応募
- 主催：元気なごみ仲間の会（2003年よりNPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット）
- 後援：環境省・経済産業省・農林水産省・国土交通省
- 環境事業団助成事業

「市民がつくる環境のまち」元気大賞2001

群馬県伊勢崎市 「NPO法人環境ネット21」

- 実施プロジェクト：『循環型社会の実現に向けて、私たちにできること』
- 商工会議所青年部とOB、20名
環境保全、こどもの健全育成、まちづくり・まちおこしを3本柱に2000年から活動。
- 生ごみ堆肥で育てた野菜でドレッシング、お米で地酒づくり。フロン回収、こどもの遊び場運営など、幅広い

商工会議所青年部OBが、
こどもたちに豊かな未来を
伝えようと楽しい汗を流す、
群馬県伊勢崎市
「NPO法人環境ネット21」



「市民がつくる環境のまち」元気大賞2002

佐賀県伊万里市 「伊万里はちがめプラン」

- 実施プロジェクト:伊万里『環の里』計画
- 「自分達の出すごみは、自分達で資源にしよう」と、10年かけて飲料店・旅館・給食センターなど60軒と、100世帯の生ごみ回収・堆肥化のネットワークを構築
- 休耕地で菜の花を植え、菜種油を。廃食油は回収してバイオディーゼル燃料に循環利用。事業者・市民・行政・大学が連携してごみゼロのまちづくり



地域事業者と、一般家庭、
佐賀大学の先生も連携して
ごみゼロのまちづくりを進め
る、佐賀県伊万里市の「伊
万里『環の里』計画」



「市民がつくる環境のまち」元気大賞2003

岩手県葛巻町 「天と地と人の恵みを生かした
日本一の新エネルギーの里づくり」

- エネルギーは自治体・地域の課題と、町と町民が一丸となって、1999年から新エネルギー導入に取り組む。
- 地域資源を宝に変えてまちづくりを進める葛巻町は、風力・太陽光、畜産ふん尿、水力を、学校や町の施設に取り入れ、自然の恵みと共生する暮らしと文化を育てている。

「市民がつくる環境のまち」元気大賞2003

東京都世田谷区 「NPO法人 えこひろば」

- 「エコ商店街・桜新町 支援プロジェクト」
- 地域商店街の環境対策を大学と協働で調査し、商店街エコマップを作成したり、マイバッグ推進するなど、商店街を応援

宮城県仙台市

「財みやぎ・環境と暮らし・ネットワークNPO法人」

- 「仙台スタジアムごみ減量大作戦」
- イベントのごみ減量と、幅広い市民参加を願い、ベガルタ仙台ボランティアネットと協力して、カップのリサイクル・リユース推進

都市の地域ネットワーク事例 東京都新宿区 「NPO法人新宿環境活動ネット」

- 1999年以来、環境都市新宿の創造に向けて、市民・事業者・行政350人が登録し、顔の見える信頼を育む緩やかな情報交流ネットワーク。
- 環境配慮企業の「エコ事業者連絡会」
- 地域と学校の連携で環境学習を推進する「環境学習応援団」
事業の広がりの中、継続をめざして2003年にNPO法人化。